

緑化だより

8 平成18年9月号



サルスベリ：平成18年8月23日 撮影

センターのお話

さんぽ道

研修会・イベント報告

8/5:夏休み工作教室

研修会・イベント紹介

9/7:秋の七草 9/20:樹の薬効

9/23:初秋の山を歩こう

花だより

お知らせ・案内

広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園

〒732-0036 広島市東区福田町 166-2

TEL 082-899-2811 FAX082-899-2843

URL <http://www.hiroshima-cdas.or.jp/ryokka-c>

E-mail ryokka-c@hiroshima-cdas.or.jp

センターのお話 『溪流路』

緑化センター周辺は、藤ヶ丸山・三本木山・立石山・長者山などがあり、たくさんの山水が流れています。それらの山水は、センター池や木と水のふれあい広場、ふれあいの池、ビオトープの森などの親水場へと流れています。その中で最も人気が高いスポットは、『溪流路』です。



溪流路には、ちょっとした芝生広場と30cm程度の深さのせせらぎがあり、夏にはたくさんの子供たちが水着で遊んでいます。木陰にも囲まれて、暑い夏をゆっくりと気持ちよく過ごすことができます。パラソルなどを利用して休んでいる人もいます。

『溪流路』は、芝生広場を中心とした川沿いに設置された約900mの散策路のことで、溪流路沿いには広葉樹を中心に樹林が形成されています。樹林の中には、朽ち木や落葉がたくさん堆積しており、カブトムシやクワガタムシが集まる木もあります。甲虫類や水生昆虫など様々な生き物に出会える路です。

(バーベキューなど火気の使用はできません)

さんぽ道 『ふれあいの道』 (延長 1.5km 所要時間50分)

今回紹介する道は、緑化センターで活動している森林ボランティア:ふれあい湧(ワーク)で整備した散策路を通る道です。

林間広場から山に向かって歩き始めると、大きなアカマツの幹に材線虫病の防除を行った証の札が張ってあります。

ウリハダカエデ、アラカシなどを見ながら登ると『落葉広葉樹林』の説明板があります。右に少し歩くと「ふれあいの道」の標識があり、矢印の方向に登って行きます。しばらく階段のある坂道を登ると、鹿に表皮を剥がれたりヨウブが多く見られます。コシダが現れると作業路までもう少しです。作業路に出ると道幅の広い砂利道が続きます。

東山作業路を左(北側)にしばらく進みます。道の両側には、アカマツの幼樹が多く、防火水槽もあります。クマノミズキ、エゴノキ、クリなどが谷側に見られ眼下には、園内が望めます。谷間には、アケボノソウ(開花:9~10月)、ジャケツイバラ(開花 5~6月)なども見られ、開花時にはかわいい花が見られます。アオハダ、ウラジロノキなども見られます。長者山への登山道入口を右手に見ながら下っていき、アカガシ、ハゼノキ、クロキなどが見られ、車道に出ます。車道を上がると林間広場に降り着きます。



研修会・イベント報告

8月5日(日) 『夏休み工作教室』

夏真っ盛りの8月5日に、子供を対象にした研修会『夏休み工作教室』を開催しました。材料準備の関係で受付を30名に限定して行いました。

研修内容ですが、幼児は葉や実を使って、トンボやチョウなど昆虫を作ったり、画用紙の上に葉を用いて絵を書いたりしました。思いもよらない配置や色使いをする子供達の想像力に感心させられました。

小学生は、『竹ポックリ』『竹の水鉄砲』『いのししの置物』の3つをつくりました。とは言っても、ある程度は作っておいたので、組み立てる作業が中心でした。竹ぽっくりは、竹にヒモをつけてその上に乗って、パカパカ歩いて遊ぶ道具で、いのししの置物は、いのししの胴体に削られた木に足や尻尾、目、牙など思い思いの材を取り付け、色を塗りました。水鉄砲は、竹筒を用いてつくりました。

木や葉に触れることで、樹木のすばらしさを感じてもらえたのではないのでしょうか。子供達の笑顔が印象に残った研修会でした。



研修会・イベント紹介

9月7日(木) 『秋の七草と自然探勝』 10:00 ~ 12:00

残暑の厳しい日が続きますが、暦の上では処暑が過ぎ、だんだん秋らしくなっていきます。秋は「読書の秋」「スポーツの秋」「食欲の秋」などたくさんの秋がありますが、みなさんの秋はいかがでしょう。秋の七草の研修会は、七草の説明から七草にまつわる話を中心に、後半は園内に出て実際に秋の七草を観賞する予定です。

9月20日(水) 『緑化センターの樹の薬効』 10:00 ~ 12:00

薬草は、古くから用いられて長い歴史を経ています。薬草から発見された重要な医薬品が数多く存在しています。さらに中国では、それらは漢方薬に発展しました。

しかしながら、民間薬や漢方薬と言われてもピンと来ないのが現実で、案外身近にそういった植物は多いようです。

試薬するかしないかは別にして、どのような効果が、薬草や薬樹にあるのかを知ると、植物の見方も少し変わるかもしれません。

薬草について、色々な話を聞いていただけないかと思います。

9月23日(土) 『初秋の山を歩こう』 10:00 ~ 14:00 (弁当・飲物持参)

緑化センター周辺の山を登ります。春(5/14)は藤ヶ丸山(665.4m)に植物観察を行いながら登りました。さて今回は、…。



フジバカマ

花だより

ムクゲ アオイ科 フヨウ属 別名:ハチス 学名:Hibiscus . syriacus

処暑も過ぎ、本格的な夏も終わりに近づいていますが、残暑の厳しい日々が続いております。この時期に路傍や公園の植込に薄いピンクや白い花を目にすることがあります。今回紹介する『ムクゲ』の花です。この花はハワイで有名な花:ハイビスカス(仏桑花 - ブッソウゲ)の花にそっくりです。



ハイビスカスは、ハワイの州花であり、マレーシアの国花でもあります。一方、ムクゲは、韓国の国花です。世界共通の名称である学名では、両花とも“ハイビスカス”と呼ばれていることから、兄弟であり、いろいろな国や地域の人々に好まれている花なのです。

ムクゲは花が少ない夏に可憐な花を咲かせ、咲き始めると次から次へとツボミが枝の先端に向かって咲き続けていきますので長期間にわたり観賞することができます。その辺が人気の高さになっているのではないのでしょうか。

この樹の挿し木は容易なので、珍しい花を見かけた時は、一枝(20cm程度)分けていただいて、挿し木してみたいかたがでしょうか。くれぐれも黙って採らないようにして下さいね。

お知らせ・ご案内

10月22日(日)は、『**第30回全国育樹祭**』が中央森林公園(三原市)で開催され、緑化センターも呼応してイベントを開催いたします。様々な催しで、皆様のお越しをお待ちしております。

展示会のお知らせ

世界のチョウ展

9月5日(火)～10月5日(木)の間、レストハウスにて『**世界のチョウ展**』を開催します。(タテハチョウの仲間を展示する予定です)

緑化センターの野鳥の巣展

9月2日(土)～10月24日(火)までレストハスにて『**野鳥の巣**』を展示します。(緑化センター内で巣立った後の巣です)

キャッチフレーズの募集について

只今、緑化センターのキャッチフレーズを募集しています。締め切りは9月末で、発表は10月に行う予定です。

たくさんの応募をお待ちしております。



モンキアゲハ



クロアゲハ